



# 2010オープンキャンパスにご参加ください

吉備国際大学、吉備国際大学短期大学部、順正高等看護専門学校3校合同のオープンキャンパスに参加してみませんか？大学、短期大学部、専門学校の概要を1日で体験できる充実したプログラムです。

受験生の皆さんにとっては、将来を決める大事な選択になるかと思えます。ぜひ参加して学生生活の一端を体感するとともに、学科等の内容や入試についての相談、将来の就職に関すること、さまざまな疑問を解決してください。

受験生だけでなく、高校1・2年生や社会人の進学希望者の皆さん、また高梁に住んではいても大学に足を運んだことが無いという皆さんも、ぜひご参加ください。教職員一同、心よりお待ちしております。



開催日時	主要内容
6/20(日) 13:00~16:00	学部・学科説明、ミニ講義、体験コーナー、施設見学、在学生とのフリートーク、入試・生活・保護者相談コーナー、A O面談
7/24(土) 13:00~16:30	
8/1(日) 13:00~16:30	
9/12(日) 13:00~16:30	
10/9(土) 13:00~16:00	

※備中高梁駅から無料送迎バスを運行(自家用車での来場も可能)  
※短期大学部保健科の美容デザイン専攻・メディカルビューティー専攻のオープンキャンパスは、同日程で岡山駅前キャンパス(岡山市北区岩田町2-5)で実施します。

歯科衛生士養成のデンタルビューティー専攻主催のセミナーを開催！テレビや雑誌でも活躍中の歯科医師・宝田恭子さんを特別講師にお招きし講演いただきます。どなたでも参加でき、事前申込は不要です。詳しくはお問い合わせください。  
▷日時：6月27日(日) 午後0時45分(受付開始)  
▷会場：吉備国際大学7号館

■問い合わせ 順正学園入試広報室 (☎@7178)

### 編集後記

美術館に行くのが好きで、気になる企画展が開催されれば少し遠くまで足を伸ばすこともあり、最近も神戸や広島へ出かけました。こうしたことに興味を持ったきっかけを考えると、小学生のとき、両親に連れて行ってもらった国立博物館でした。教科書の写真でお待たせの鐘の音、大仏さまを想像していた銅像が、実物はずいぶん小さく、とても驚いたことを覚えています。

今月号でお知らせしましたが、市は今年度から、子育て支援の新たな取り組みとして、子どもたちに本物に触れてもらい、夢や目標を広げてもらおうための事業「夢の応援」をスタートしています。すでに終了したものもありますが、今後もさまざまなイベントが計画されています。ぜひイベントに参加し、夢や目標を広げてください。

## ★夏休みスペシャル企画★ 寝台特急「サンライズ出雲」号で行く 東京ディズニーリゾート 8月27日(金)~29日(日)

JR伯備線備中高梁駅利用促進協議会は、寝台特急「サンライズ出雲」号の備中高梁駅停車実現に向けた取り組みの一環として、次のツアーを企画しました。夏休み最後の思い出に、ご家族や友人と一緒に出かけませんか。

### ■旅程

日	程
8/28(金)	備中高梁駅(21:48発予定)―〈サンライズ出雲号〉〔車中泊〕
8/29(土)	東京駅(7:08/7:32)―舞浜駅(7:47)…東京ディズニーリゾート〔終日フリータイム〕…東京ベイ有明ワシントンホテル〔泊〕
8/30(日)	ホテル…〔出発までフリータイム〕…東京駅(14:40集合/15:10)―〈新幹線のぞみ号〉―岡山駅(18:30/19:05)―〈特急やくも号〉―備中高梁駅(19:39着)

■旅行代金 大人：38,300~48,000円、小人：24,500~27,000円  
※寝台特急の座席、ホテルの部屋タイプにより金額が異なります。詳しくは、申込先へお問い合わせください。  
※東京ディズニーリゾートの入場料は含まれていません。

- 募集人数 30人程度
- 申込先 旅行請負：ビホクツーリスト (☎@8778)
- 申込期限 8月6日(金) ※募集人数に達し次第、締め切ります。
- その他 (1) 大人を含む2人以上でお申し込みください。  
(2) 同協議会で、旅行代金の一部助成を行います。

■問い合わせ JR伯備線備中高梁駅利用促進協議会事務局 (総合政策課内☎@0286)

# 地名を歩く

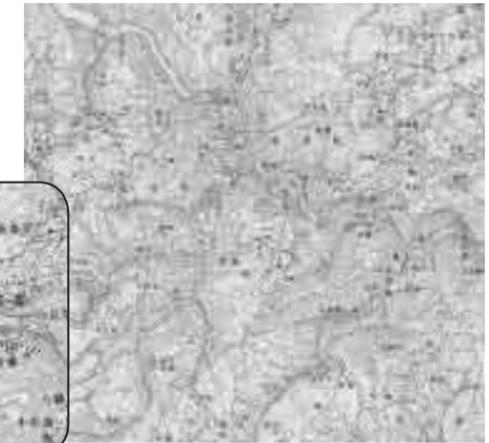
六十七 吉備高原と野呂地形



「吉備高原面」成羽町木ノ村方面を望む(写真上)



川上町の「吉備高原面」。写真左が残丘の須子山。右が弥高山(写真上)



地形的に著しいコントラストを見せる成羽川のV字谷と高原面(右の地形図)

岡山県津山盆地の南から高梁・新見・広島県の三次付近にかけて標高三〇〇〇以上の山頂部が揃った吉備高原が発達しています。これは小起伏の地形で「吉備高原面」といわれ、地形学用語として、歴史や地理学などでよく使われています。高梁市内を中心とした川上町、備中町、成羽町、宇治町では高原上に村が開け標高五〇〇以上の「吉備高原面」が発達しています。稜線や山頂の高度がだいたいの揃って浸食された小起伏が発達した短谷(数多くの短い谷が樹枝状にある)の地形をしています。

なかでも高梁川の支流成羽川の流域は吉備高原を数回V字状に深く削り込み、川は穿入曲流となり峡谷地形となっています。この地域は吉備高原の準平原や浸食小起伏の形成過程を考察する上で日本における代表的なモデル地域なのです。川上町高山付近には東半部に標高四五〇以上の小起伏面が発達し、比高一五〇以上の急斜面が高原を取り巻き、この地域は吉備高原の小起伏面が最も発達したところで、地形学では「川上層」と名付けています。この小起伏面には、山砂利層といわれる礫層(高瀬層ともいう)が分布しています。隆起準平原の高原には須子山(五二・七)や弥高山(六五・三・六)が飛び抜けていて、前輪廻の残丘といわれ、基盤の岩石は玄武岩に貫かれ、八〇〇万年前の古生代のもので浸食によって表面がなだらかになっています。地形図(五万分の一・幅「油木」)で見ると、備中町の平川や布賀、そして川上町の七地、成羽町長地付近に極めて広い

小起伏の平坦面があります。これらの隆起準平原はいずれも高梁川の支谷によって開析されています。隆起準平原は平坦で浸食を受けた丘陵が波状にうねって続いています。発達した「吉備高原面」のクボ(谷)は耕地に利用され、山の部分の微高地は、浸食されている面で、クボになった谷は浸食された土砂で埋められた堆積面(たいせきめん)で、吉備高原特有の地形が見られるのです。山の部分は赤土が多く畑作が行われ、クボの部分は黒土が多く水田に利用され、「窪」とか「窪」、丘の高いところは「空」「ソネ」などの地名が多いのが「吉備高原面」の特色なのです。このような高原の地形を「野呂地形」と呼んでいます。備中町、川上町、成羽町の高原の地域は生活の舞台はほとんど高原上にあり、高原と河岸場(がしやま)を人馬で往来し、物資の輸送をしていたのです。高原の平坦面上には道路が発達し集落が散在しています。この高原上の道は「野呂の道」といわれました。例えば東油野と下の田原の河岸場への道、平川から惣田や井川への道、布賀から黒鳥の河岸場への道などがあつて、物資は河岸場から船積みし下流へ運んでいました。「野呂の道」は生活を支える道でした。

吉備高原は起伏の少ない老年状の山地で、五〇〇以上の高原面は、中新世末期に形成されただろうといわれているのです。「吉備高原」とは地理学や地形学の用語で、専門家によって岡山県一帯から広島県に広がる地形なので「吉備の国」の吉備をとって名付けられたものです。(文・松前俊洋さん)